は、すぐに医療機関を受診してください。バッテリー液漏れは、アレルギー性炎症や火傷を引き起こす恐れがあります。

**保守サービス**

28、電動工具の修理は、資格のある専門の保守担当者に依頼し、必ず純正部品を使用してください。これにより、工具の安全性が確保されます。

29、潤滑と付属品の交換は、説明書に従って行ってください。

30、ハンドル部分を乾燥した清潔な状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

**ブラシレスチェーンソー使用上の安全警告**

1、保護メガネまたはゴーグルを使用してください。通常の眼鏡やサングラスは保護メガネではありません。

2、工具をしっかりと保持してください。

3、稼働中の工具を手から離さないでください。必ず手に持った状態で操作してください。

4、本製品は防水構造ではないため、加工対象物の表面を乾燥した状態に保ってください。

5、研磨作業時は、作業場の換気を十分に行ってください。

6、一部の材料には有毒な化学物質が含まれています。粉塵を吸い込まないようにし、皮膚に接触しないように注意してください。材料のサプライヤーの指示に従ってください。

7、塗装面や木材などの研磨作業では、有毒物質を含む粉塵に曝露される恐れがあります。適切な呼吸用保護具を着用してください。

8、使用前に、スペーサーにひびや破損がないことを確認してください。ひびや破損は怪我の原因となります。

**この取扱説明書を保管してください**

**警告!** 利便性や製品に慣れた（繰り返し使用による経験）を理由に、関連する安全規則を軽視しないでください。不適切な使用や、説明書の安全規則を守らない使用は、重大な怪我の原因となります。

## 環境を守るをために

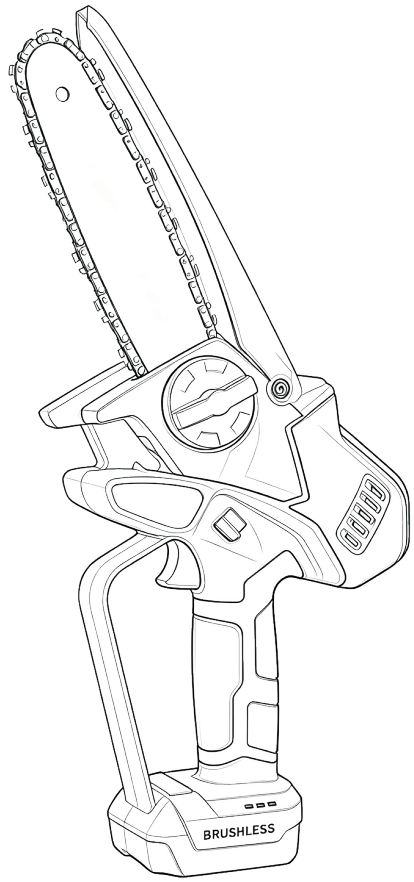
環境に優しい方法で製品本体及び付属品を回収ください。
廃棄する際に一般の家庭ゴミと区別する必要があります。
正しい廃棄、処理、再利用、リサイクルのため、指定された回収場所までお持ちください。

## ブラシレスチェーンソー保証書

| | | |
|---|---|---|
| 型番 | MK-LJ01 | |
| お客様 | お名前<br>ご住所　〒<br>お電話番号 | |
| お買い上げ日 | | |
| 保証期間:（お買い上げ日から）<br>本体一年間 | | |
| ご注文番号 | | |

# ブラシレスチェーンソー

# 取扱説明書




警告！本機を使用する前に、取扱説明書、特に工具の安全警告をよくお読みください。
説明書の内容を理解・遵守しなかった場合、感電、火災および / または重大な人身事故につながるおそれがあります。

型番：MK-LJ01

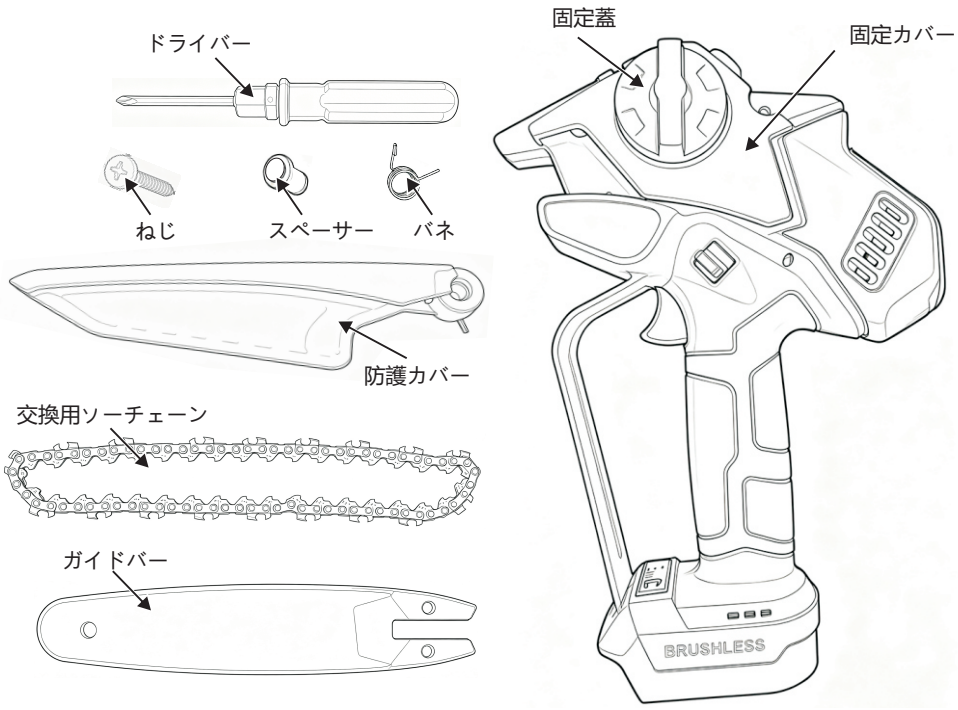
# 仕様

| | |
|---|---|
| 型番 | MK-LJ01 |
| 全長 | 420 mm |
| 定格電圧 | DC21V |
| 質量 | 1.2kg |
| サイズ | 6インチ |
| 最大切断幅 | 10cm |
| チェーン速度 | 8m/s |
| 無負荷回転数 | 5400r/min |

● 当社は継続的に研究開発を行っているため、本書の仕様は予告なく変更される場合があります。

● 仕様は国によって異なる場合があります。

※1.質量には、ソーチェーン、ガイドバー、ガイドバーカバー、オイルおよびバッテリーパックは含まれておりません。




# 組立て

⚠ 注意: 工具に対して何らかの作業を行う前に、必ず電源スイッチを切り、バッテリーパックを取り外してください。

⚠ 注意: 素手でソーチェーンに触れないでください。ソーチェーンを扱う際は、必ず手袋を着用してください。

### ソーチェーンの取り外し•取り付け

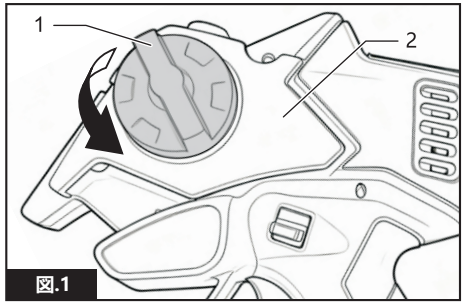
注意: 使用直後はソーチェーンとガイドバーが高温になっています。十分に冷めてから作業を行ってください。

注意: ソーチェーンの取り外し•り付け作業は、おがくずなどのない清潔な場所で行ってください。

### ソーチェーンの取り付け

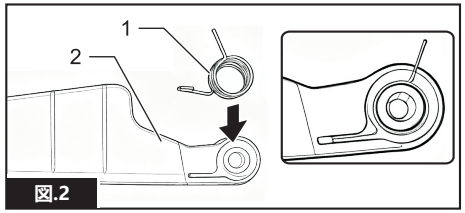
ソーチェーンを取り付けるには、以下の手順を実行してください。

1、固定カバーを反時計回りに回転させ、固定カバーと固定カバープレートを取り外してください。



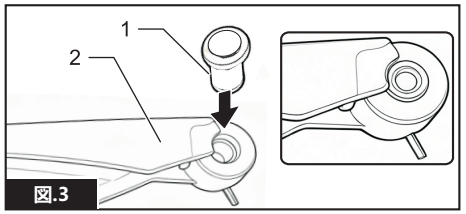

► 1.固定蓋 2.固定カバー

2、バネを防護カバーの回転軸穴に合わせ、防護カバーの軸柱に組み込んで仮固定してください。（右側の小図は組付完了状態の参考図です。）




► 1.バネ 2.防護カバー

3、スペーサーを防護カバーの中心軸穴に垂直に合わせ、下方へ押し込んで回転軸箇所に組み付け、スペーサーを固定してください。（右側の小図は組付完了状態の参考図です。）

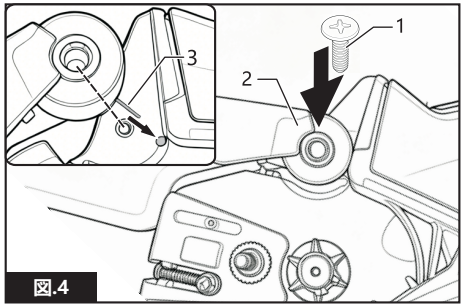



► 1.スペーサー 2.防護カバー

4、a) 左上の拡大図を参照し、バネを防護カバーの回転軸部分に事前に組み込み、バネを所定位置に仮止めします。

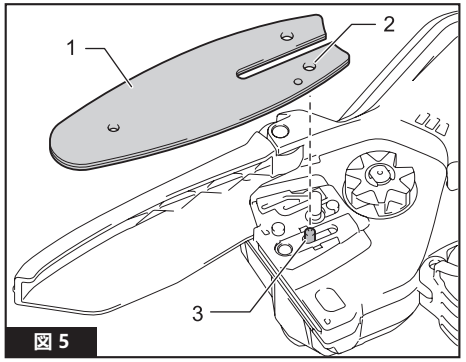
b) 防護カバーを本体の取り付け箇所に合わせて貼り付け、取り付け穴を正確に一致させます。

c) ねじを防護カバーの中心穴に垂直に合わせてねじ込んで締め付け、防護カバーと内部のバネを本体に固定します。




► 1.ねじ 2.防護カバー 3.バネ

5、ガイドバーをスプロケットに向かってスライドさせ、ピンにロックしてください。




► 1.ガイドバー 2.穴 3.ピン

6、ソーチェーンの一端をガイドバーの上部にはめ込んでください。

7、ソーチェーンのもう一端をスプロケットに巻き付け、ガイドバーの穴が工具本体のピンと一致するようにガイドバーを工具本体に取り付けてください。

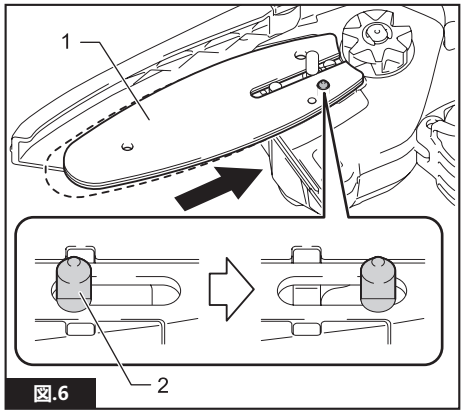


図.6

► 1.ガイドバー　2.ピン

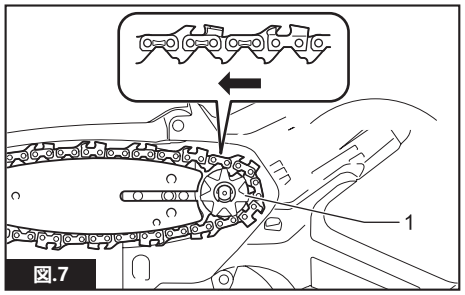


図.7

► 1.スプロケット

ガイドバーを工具本体に押し当ててピンを解放してください。ソーチェーンの張りは自動的に調整されます。

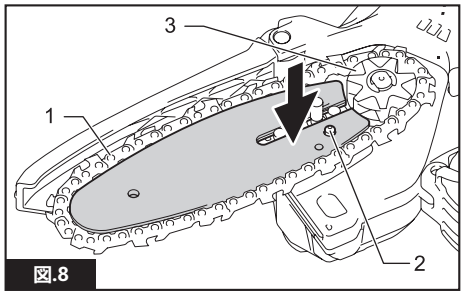


図.8

► 1.ソーチェーン　2.ピン　3.スプロケット

8、工具本体のボルトとピンがスプロケットカバーの対応する部分と噛み合うように、スプロケットカバーを配置してください。

9、固定カバーを取り付け、時計回りに回転させてスプロケットカバーを固定します。

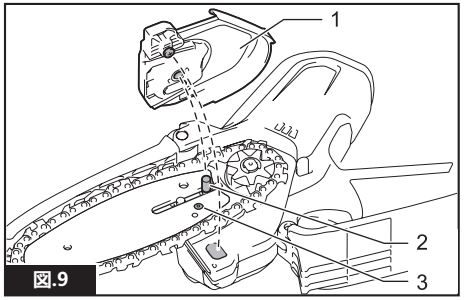


図.9

► 1.固定カバー　2.ボルト　3.ピン

10、固定カバーを時計回りに回転させ、ロック • 締め付けてください。

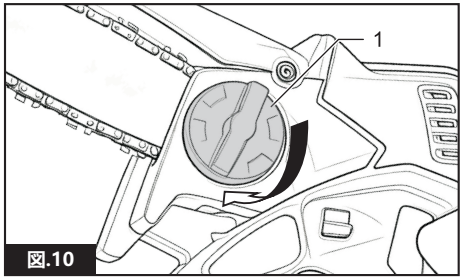


図.10

► 1.固定蓋

ソーチェーンに緩みがなく、前後にスムーズに動くことを確認してください。必要であれば、「ソーチェーン張りの調整」の項を参照してソーチェーンの張りを調整してください。

### ソーチェーンの取り外し

ソーチェーンを取り外すには、以下の手順で行ってください。

1.レバーを上に引き上げてください。

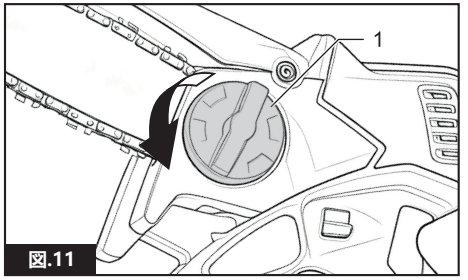


図.11

► 1.固定蓋

## スイッチの操作

**警告!** 安全のため、本製品には不意の始動を防ぐロックオフレバーが搭載されています。

ロックオフレバーを押さずにスイッチトリガーを引いただけで工具が始動する場合は、絶対に使用しないでください。以降の使用前に、必ず弊社正規サービスセンターへ修理を依頼してください。

**警告!** ロックオフレバーをテープで固定したり、その機能を無効にしたりしないでください。

⚠ 注意: バッテリーパックを取り付ける前に、スイッチトリガーが正常に作動し、離すと【OFF】位置に戻ることを必ず確認してください。

⚠ 注意: ロックオフレバーを押さずにスイッチトリガーを強く引かないでください。スイッチ破損の原因となります。

不意にスイッチトリガーが引かれることを防ぐため、ロックオフレバーが装備されています。工具を始動するには、ロックオフレバーを押しながらスイッチトリガーを引いてください。スイッチトリガーを離すと停止します。

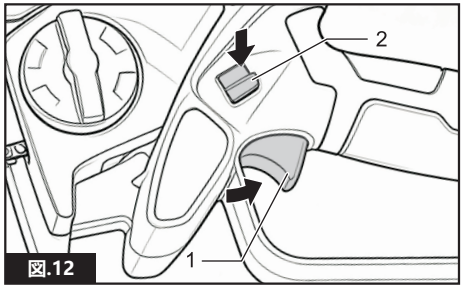


図.12

► 1.スイッチトリガー　2.ロックオフレバー

# 機能説明

⚠ **注意:** 工具の調整または機能点検を行う前に、必ず電源スイッチを切り、バッテリーパックを取り外してください。

## バッテリーパックの取り付け•取り外し

⚠ **注意:** バッテリーパックの取り付け•取り外しを行う前に、必ず電源スイッチを切ってください。

⚠ **注意:** バッテリーパックの取り付け•取り外しの際は、工具とバッテリーパックをしっかり保持してください。工具とバッテリーパックをしっかり保持しなかった場合、手から滑り落ち、工具やバッテリーパックの破損、またはけがの原因となるおそれがあります。

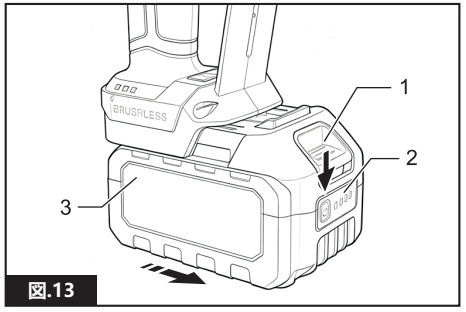


図.13

►1.赤色ボタン　2.インジケーター　3.バッテリーパック

バッテリーパックを取り外すには、パック前面のボタンをスライドさせながら、本体からバッテリーパックをスライドさせてください。

バッテリーパックを取り付けるには、バッテリーパックの凸部を本体の溝に合わせてスライドさせて装着してください。「カチッ」と音がするまで最後まで差し込んでください。図のように赤色インジケーターが見えている場合は、完全にロックされていません。

**注意:** 赤色インジケーターが見えなくなるまで、必ずバッテリーパックを最後まで確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと、使用中にバッテリーパックが脱落し、自分または周囲の人がけがをする原因となります。

**注意:** バッテリーパックを無理に取り付けないでください。スムーズに挿入できない場合は、取り付け位置が正しくありません。

## 電池残量表示

インジケーター付きバッテリーパックのみ対象

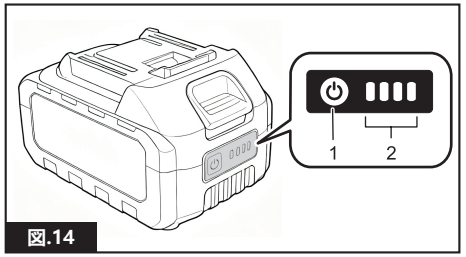


図.14

► 1.チェックボタン　2.インジケーターランプ

バッテリーパックのチェックボタンを押すと、電池残量が表示されます。インジケーターランプは数秒間点灯します。

## バッテリー充電です

充電器に接続されたバッテリー。充電器プラグは電源コンセントに接続されている。充電中は、バッテリのLEDランプが赤くなり、バッテリが満充電になると緑色になります。

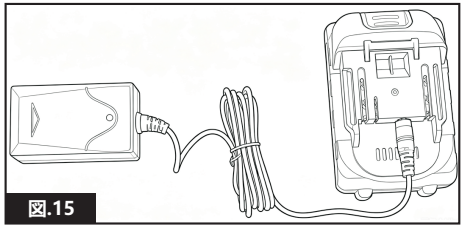


図.15

### 注意事項

1) 充電前に、電池電源スイッチがOFF位置にあることを確認してください。充電中に充電器と電池が発熱するのは正常です。
2) もし電池が長期的に使用しないならば、お勧めは3ヶ月ごとに電池に一回充電して、このように電池の使用寿命を保証することができて電力量が低すぎるため影響を受けません。
3) 新しい電池または長い間使用されていない電池では、満容量に達するまでに約5サイクルの充放電サイクルが必要である。
4) フル充電されたバッテリーを数分間使用してから充電しないでください。これはバッテリーの稼働時間と効率を低下させる可能性があります。
5) 破損、変形、腐食、臭い、外観異常のある電池は使用しないでください。充電器と電池を分解しないでください。
6) 電池を高温、熱源の近くに置かないでください。そうしないと、バッテリーが高温熱源に長時間さらされて爆発したり、火災になったりします。
7) 屋外や湿気の多い環境で電池を充電しないでください。湿った環境に電池を保管しないでください。
8) 電池は子供の手の届かないところに置いてください。
9) 電池に釘を挿入したり、電池をハンマーで叩いたり、電池を踏んだり、電池に電池を投げたり、他の形の電気ショックを与えないでください。
10) バッテリーを充電コンセントや自動車のシガレット点火器コンセントに接続しないでください。

# 電動工具共通安全警告

**警告!** 安全上の注意事項と説明書をすべてお読みください。
注意事項と説明書を守らないと、感電、火災、重大な怪我の原因となります。

今後の参照のため、すべての警告と説明書を保管してください。

本警告に記載の「電動工具」とは、電源（コード式）またはバッテリー（充電式）で駆動する電動工具を指します。

### 作業場所の安全事項

1、作業場所は清潔で明るく保ってください。乱雑または暗い場所では、予期せぬ事故が発生しやすくなります。
2、可燃性の液体、ガス、粉塵のある爆発性環境で電動工具を使用しないでください。電動工具から発生する火花が粉塵やガスに引火する恐れがあります。
3、電動工具の使用中は、子供や第三者を近づけないでください。操作中に気を取られると、工具の制御ができなくなります。

### 電気的安全事項

4、電動工具のプラグは、コンセントに適合させてください。プラグを改造したり、接地された電動工具にアダプタープラグを使用したりしないでください。無改造のプラグと適合するコンセントを使用することで、感電のリスクを低減できます。
5、パイプ、ラジエーター、ストーブ、冷蔵庫などの接地された表面に身体を接触させないでください。身体が接地されていると、感電のリスクが高まります。
6、電動工具を雨や湿気の多い場所にさらさないでください。工具内部に水が浸入すると、感電のリスクが高まります。
7、電源コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って工具を移動させたり、プラグを引っ張って電源を切ったりしないでください。また、コードを熱、油、鋭利な部分、可動部に近づけないでください。コードが破損すると、感電のリスクが高まります。
8、屋外で電動工具を使用する場合は、屋外専用の延長コードを使用してください。屋外用のコードを使用することで、感電のリスクを低減できます。
9、湿った場所で電動工具を使用する必要がある場合は、漏電遮断器 (GFCI) 保護機能付きの電源を使用してください。漏電遮断器を使用することで、感電のリスクを低減できます。

### 個人の安全対策

10、電動工具の使用中は、常に注意を払い、常識的な判断をしてください。麻薬、アルコール、薬物の影響下で工具を使用しないでください。操作中の気の散漫は、重大な怪我の原因となります。
11、保護具を使用してください。安全メガネ、防塵マスク、滑り止め安全靴、ヘルメット、耳栓などを適切に使用することで、怪我のリスクを低減できます。
12、意図しない起動を防いでください。電源やバッテリーパックに接続する前、工具を持ち上げたり運んだりする前に、スイッチがオフになっていることを確認してください。スイッチに指をかけたまま工具を持ち上げたり、スイッチがオンの状態で工具に通電したりすると、事故の原因となります。
13、工具を起動する前に、調整用のキーやレンチをすべて取り外してください。回転部にキーやレンチが付いたままだと、怪我の原因となります。
14、無理な姿勢で作業しないでください。常に足元を安定させ、バランスを保ってください。これにより、予期せぬ状況でも工具を適切に制御できます。
15、服装に注意してください。ゆったりした服や装飾品を身に着けないでください。髪、服、手袋を可動部に近づけないでください。ゆったりした服、装飾品、長い髪は可動部に巻き込まれる恐れがあります。
16、集塵装置や集塵機器に接続可能な場合は、適切に接続して使用してください。集塵機器を使用することで、粉塵に関連する事故を減らすことができます。

### 電動工具の使用と手入れ

17、電動工具を乱用しないでください。用途に合った正しい工具を使用してください。設計された能力の範囲内で使用することで、安全かつ効率的に作業できます。
18、スイッチで工具の起動・停止ができない場合は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険であり、修理が必要です。
19、調整、アクセサリーの交換、工具の保管を行う前に、プラグを電源から外すか、バッテリーパックを取り外してください。これらの安全対策により、工具が意図せず起動するリスクを低減できます。
20、使用しない電動工具は子供の手の届かない場所に保管し、工具や取扱説明書に不慣れな人には使用させないでください。電動工具は、訓練を受けていない人の手によって危険なものとなります。

### 電動工具の保守

21、電動工具を整備してください。可動部のずれや固着、部品の破損、その他工具の動作に影響を及ぼす状態がないか点検してください。部品が破損している場合は、使用前に修理に出してください。整備不良による事故は多く発生しています。
22、工具を清潔に保ってください。手入れの行き届いた清潔なサンドペーパーは、性能を発揮し、制御しやすくなります。
23、これらの説明書に従い、使用条件や作業内容に合わせて電動工具や付属品を使用してください。設計外の用途で電動工具を使用すると、予期せぬ事故の原因となります。

### バッテリー駆動式電動工具の使用と手入れ

24、充電は必ずメーカー指定の充電器を使用してください。特定のバッテリーパック専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
25、電動工具には、専用の指定バッテリーパックのみを使用してください。他の種類のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災の原因となります。
26、バッテリーパックを使用しないときは、クリップ、コイン、鍵、釘、ネジなどの小さな金属製品から離して保管してください。これらの物がバッテリー端子を短絡させ、発火・火災の原因となる恐れがあります。
27、バッテリーの過負荷使用を避けてください。液漏れした場合は、液に触れないようにしてください。万が一液が目に入った場合